

Excelスタンダードの各講座の主な内容(通学のみ)

【コース概要】

VBAを効率的に利用し、汎用的なプログラムを組むことができる。

回数	180分×8回	
通常受講料	¥77,000	
講座内容	変数の活用、テーブルの操作、関数などを組み合わせて記述。	
前提条件	Excelベーシックレベル修了または同等レベルの方	
カリキュラム	1. プロシージャ 2. 変数の活用 3. ステートメント 4. ファイルの操作 5. ワークシート関数の利用	6. 検索とオートフィルター 7. データの並べ替え 8. テーブルの操作 9. エラー対策 10. デバッグ

1.《Functionプロシージャ》 指定したシート名が存在するかを調べその結果を画面に表示する。

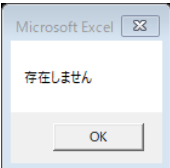
```
Sub Macro1()  
    If Chksheet("Sheet1") = True Then  
        MsgBox "存在します"  
    Else  
        MsgBox "存在しません"  
    End If  
End Sub
```

**Subプロシージャで、
Functionプロシージャで
調べた結果を表示する**

**プロセスの
使い分けの学習**

```
Function Chksheet(A As String)  
    Dim i As Long  
    For i = 1 To Sheets.Count  
        If Sheets(i).Name = A Then  
            Chksheet = True  
            Exit Function  
        End If  
    Next i  
    Chksheet = False  
End Function
```

**Functionプロシージャで
指定したシート名が存在
するかを調べる**



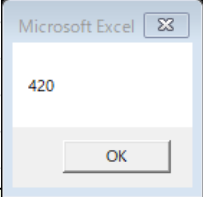
3.《ステートメント》 A列に入力されている値を足して、メッセージ ボックスに合計を表示する。

```
Sub Sample4()  
    Dim I As Long, A As Long  
    i=1  
    Do While Cells(i, 1)<>""  
        A=A+Cells(i,1)  
        i=i+1  
    Loop  
    MsgBox A  
End Sub
```

Do...Loopステートメント

**条件による
繰り返しの学習**

	A	B	C
1	82		
2	75		
3	95		
4	12		
5	46		
6	34		
7	76		
8			



8.《テーブルの操作》 見出し行を含まないデータだけをコピーする。

```
Sub Sample2()  
    With Range("A1").ListObject.DataBodyRange  
        .AutoFilter 2,"田中"  
        .Copy Sheets("Sheet2").Range("A1")  
    End With  
End Sub
```

Withステートメント

**DataBodyRangeで見出し行を
除いたデータを選択する**

**様々な
コピー方法
の学習**

	A	B	C	D
1	日付	名前	記号	数値
2	2019/4/2	田中	B	300
3	2019/4/1	田中	D	100
4	2019/4/1	田中	C	800

Excelスタンダードの各講座の主な内容(通学のみ)

6.《ワークシート関数の利用》

セル（E1）にA列の「佐々木」の件数を、セル（E2）にはB列の「佐々木」と同じ行の数値の合計を、セル（E3）には「佐々木」の平均の数値を代入する。

ワークシート
関数の学習

Sub Sample2()

With WorksheetFunction **‘WorksheetFunctionプロパティ**

Range("E1")=.CountIf(Range("A1:A6"),"佐々木")

Range("E2")=.SumIf(Range("A1:A6"),"佐々木",Range("B1:B6"))

Range("E3")=Range("E2")/Range("E1")

End With **‘CountIf関数 ‘SumIf関数**

End Sub

	A	B	C	D	E
1	菊池	88		件数：	3
2	佐々木	70		合計：	195
3	桜井	87		平均：	65
4	佐々木	73			
5	田中	77			
6	佐々木	52			

6.《検索とオートフィルター》

A列で佐々木を検索し、見つかったセルを含むA列からC列までのデータをセル（E2）へコピーする。見つからない場合は、メッセージボックスに「見つかりません」と表示する。

Sub Sample 6()

Dim A As Range **‘Findメソッド**

Set A = Range("A:A").Find(What:="佐々木")

If A Is Nothing Then

MsgBox "見つかりません"

Else **‘Endモード**

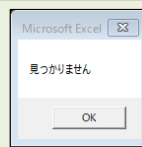
Range(A, A.End(xlToRight)).Copy Range("E2")

End If

End Sub

1	A	B	C	D	E	F	G
2	名前	記号	数値		名前	記号	数値
3	武田	A	100		佐々木	E	500
4	青木	B	200				
5	矢野	C	300				
6	石橋	D	400				
7	佐々木	E	500				
8	太田	F	600				
9	長谷川	G	700				

見つかった場合



見つからなかった場合

検索したセルを含むデータ
全体を操作する学習

6.《検索とフィルター》

オートフィルターで「佐々木」のデータを絞り込み、結果を「Sheet2」のセル（A1）へコピーする。

絞り込んだ
結果を全て
コピーする
学習

Sub Sample12()

Range("A1").AutoFilter 1,"佐々木" **‘AutoFilterメソッド**

Range("A1").CurrentRegion.Copy Sheets("Sheet2").Range("A1")

End Sub **‘CurrentRegionプロパティ**

9.《エラー対策》

「Sheet1」のシート名をセルA1に入力されている文字列に変更する。
もしもエラーが出た場合は、下記のエラー内容に応じてメッセージを表示する。

どんなエラーが
発生したのか
調べる学習

Sub Sample4() **‘On Errorステートメント**

On Error GoTo Error1

Sheets("Sheet1").Name = Range("A1")

Exit Sub **‘Exitステートメント**

Error1:

Select Case Err.Number

Case 9 **‘Select Caseステートメント**

MsgBox "Sheet1が存在しません"

Case 1004

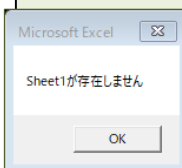
MsgBox "同名のシートが存在します"

Case Else

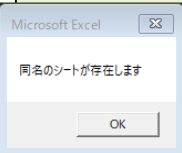
MsgBox "想定しないエラーです"

End Select

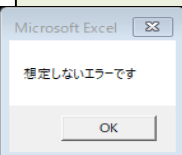
End Sub



ブック内に「Sheet1」が存在しない
→「Sheet1 が存在しません」



シート名に使用できない文字がある
→「同名のシートが存在します」



上記以外のエラー
→「想定しないエラーです」